



緊張感をもって臨んだ入学式

岡山市立福南中学校通信 発行：校長 小野 大

4月9日に、本校では第44回入学式を挙げていたしました。他の地域では、入学式ができなくて、教科書等配付のみの学校もあった中、無事行うことができてほっとしています。卒業式と同様、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、参加者を縮小し、新入生とPTA会長様、保護者の皆様、教職員のみでの入学式でした。ご来賓の皆様や在校生、吹奏楽部の演奏がない中での式でしたが、新入生の元気な返事や式の間の素晴らしい姿勢で、福南中学校へ入学する新入生の決意を感じさせてくれました。

さて、感染防止としては、クラス発表は掲示ではなくクラス名簿を配付しました。また、参加者は全員マスク着用とし、生徒席を男女各2列、保護者席をひとクラス2列+3列の5列配置で、体育館横幅いっぱいを使い、換気のために小窓を開けた状態で、入学式を行いました。ご列席いただいた皆様、本当にありがとうございました。



【校長 お祝いの言葉】



【新入生入場】

杉原諒彦君が、新入生の不安や期待、決意などを込めた新入生宣誓を堂々としてくれました。新入生の皆さんの中学校生活が充実した時間になることを願っています。



【PTA会長 廣本浩之様 祝辞】



歓迎の言葉

在校生代表として、阿部裕徳君が参加し、「歓迎の言葉」を伝えてくれました。在校生全員の気持ちを、入学した頃を思い出しながら、堂々と伝えてくれました。これから福南中の仲間として、力を合わせて頑張っていきましょう！



【関係職員 紹介】



↑クラス発表



式前のクラスでの学活↓



山形裕子様は保護者代表の挨拶をして頂きました。子供たちの成長を願う温かなご挨拶を頂きました。



1年生の教室の飾り付け

校長 お祝いの言葉(抜粋)

6年生の最後の貴重な「時間」と「場」を失ったことで、皆さんは学校について、何を思い、どんなことを考えたのでしょうか。

私は、学校という場は「人づくりの場」、だと考えています。人づくりとは「人とつながる力をつけること」です。自分とは違った考えや個性を持った人を受け入れ、その人と力を合わせて学習や活動ができることだと考えています。自分とは違った考えや個性の人とは、ぶつかることもあるかもしれませんが、その人を切り捨ててしまうのではなく、どうすればその人の考えや個性を生かせるか、という言葉で伝えれば共に活動できるかを考えて行動できることです。また、周りの人のために少しの勇気を出して行動できることは大切なことです。しかし、それと同じくらい大切なことは、周りの人がしてくれていることに気づき、ありがたい言葉を伝えることです。人とのつながりを大切にする中で、周りの人の可能性を広げ、そのことが自分の可能性を広げることにつながります。一人ではできない成長をすることができるのです。そのような「場」が学校なのです。福南中での授業やいろいろな行事を通して、仲間とのつながりを大切に、あなた自身が備えている可能性をさらに広げ、深めていく時間にしてほしいと思っています。

入学式後の学活の様子です。今年度は密集状態を避けるために、式後に保護者の方が教室で参観されるのをご遠慮して頂くようお願いし、ご協力して頂きました。

